

公式観光ガイド 2026

# ヴァーサ博物館

ストックホルム · ~から 28.75€

https://vasamuseet.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット & 公式料金



# 歴史 & エクスペリエンス

起源と歴史

## 沈没から再生へ：ヴァサの物語

GOOGLE 4.8 ★★★★★ 67 863レビュー

TIQETS 4.8 ★★★★★ 276レビュー

ストックホルムの港で、**1628**年の初航海わずか数分で沈没した戦艦ヴァサ号は、スウェーデン帝国主義の野心と悲劇を象徴する存在です。国王グスタフ・アドルフの命により建造されたこの巨船は、64門の大砲を搭載し、当時最強の軍艦として設計されましたが、重心が高すぎたために風圧に耐えきれず転覆しました。この出来事は単なる海難事故ではなく、数学的計算なしに頼った経験則の限界を示す歴史的教訓となりました。

沈没から333年後の**1956**年、アンデシュ・フランゼンという一人の男性の執念によって、海底深く眠るヴァサ号の位置が特定されました。彼は自らの資金と情熱を注ぎ、ついに1961年に世界最大級の海洋考古学的発見を実現させました。引き揚げられたのは船体だけでなく、1万4,000点以上の木材部品であり、これは「世界最大のジグソーパズル」と称される修復作業の始まりでした。

引き揚げ後の保存処理は、科学史上の奇跡とも呼べる取り組みでした。ポリエチレングリコールを用いた27年間にわたる複雑な化学処理により、海水を含んだ木材が乾燥しても崩壊しないように安定化されました。この間、仮設施設Wasavarvetで保管されながら、世界中の専門家が協力して一つ一つの部材を元の位置に戻していくという壮大なプロジェクトが進められました。

1990年の正式開館以来、ヴァサ博物館はスカンジナビアで最も訪問者の多い博物館となっています。銅製の屋根に設置されたマストのシルエットは、ユールガルデン島全体を見渡せるランドマークとなり、スウェーデン国民のレジリエンス（回復力）と文化遺産への誇りを象徴しています。子供時代からこの建物の建設を見守ってきた私にとって、ヴァサ号は単なる遺物ではなく、困難を乗り越えて再生した国家の精神そのものです。

体験

博物館の巨大なガラス扉を通り抜けると、まず目を奪われるのは、自然光が差し込む広々とした空間です。高い窓から入る柔らかな光が、黒焦げになったオーク材の船体に神秘的な輝きを与えます。建築家マリアン・ダールバックとゴラン・マンソンが設計したモダンなコンクリートの壁は、17世紀のバロック調の彫刻との対比を生み出し、訪れる者に歴史と現代が出会う緊張感を味わわせます。

6つの階層にわたって配置された展示スペースは、竜骨から艫楼まで船をあらゆる角度から観察することを可能にします。静寂の中で、大砲や装飾的な彫像の詳細をじっくりと鑑賞できる時間は、まるでタイムトラベルのような体験を提供します。特に朝の早い時間帯であれば、群衆を避け、没入感の高い見学を楽しむことができます。



訪問の準備

# 実用的な情報

住所

ユルガルデン島・トラム：ヴァサ停留所（7, 9, 11系統）またはバス44号線。シティエリアからのアクセスも容易です。

営業時間

季節や学校休暇により変動します。特に冬場は訪問前に必ず公式サイトでご確認ください。

料金

4歳未満のお子様は無料。学生およびシニア割引あり。{promo}。

所要時間

完全な見学には1時間30分から2時間を計画してください。6つの階層を探検し、解説パネルを読み、船をあらゆる角度から鑑賞するにはそれだけの時間が必要です。

写真撮影

個人利用での写真撮影は許可されています。繊細な遺物を損傷しないよう、フラッシュの使用は絶対に避けてください。船とのセルフィーは非常に人気があります！

対象客層

すべての家族に最適です。インタラクティブな展示や模型が子供たちを魅了し、大人たちは歴史の厳密さと船の規模を楽しめます。

アクセス方法

# アクセス & 交通手段

地下鉄

エスキlstuna/キュウラ (195 min)・テクニカ・ホグスコラン (12 min)

バス

: ストランドヴェーゲン — 7 min à pied

エスキルストナ/キュラ (323 min)・工科大学 (17 min)

自動車

エスキルストナ/キュラ (265 min)・工科大学 (11 min)

自転車

エスキルストナ/キュラ (365 min)・工科大学 (13 min)

LOCALISATION

# Où se trouve ヴァーサ博物館 ?




📍 Galärvarvsvägen 14 — 115 21 ストックホルム

🌐 59°19.681′ N, 18°5.484′ E



組織

# 6つの階層で船を巡る

### レベル1 (竜骨)

最下層には、船の構造を支える巨大な竜骨が展示されています。ここからは、船底の形状や防水処理の方法を理解でき、なぜ沈没したのかという物理的な理由を視覚的に把握できます。また、引き揚げられた際に回収された個人物品や、当時の水兵の生活に関する資料も見学できます。

### レベル3 (甲板)

メインデッキに相当する階層では、64門の大砲の一部とその配置を確認できます。バロック様式の豪華な彫刻が施された艦楼の基部もあり、王権の威厳を感じさせる空間です。模型やパネルを通じて、航行時の乗組員の動きや戦闘シミュレーションも理解できます。

### レベル6 (艦楼上部)

最高層の艦楼からは、船全体のスケールを俯瞰できます。精巧な彫刻が施された窓枠や、国王の紋章が刻まれた装飾品を間近で見ることができます。外側のバルコニーからは、ユールガルデン島の景色と、銅製屋根のマストとの関係性を実感できます。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

エレベーターとスロープがあり、車椅子利用者のために完全にアクセス可能です。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

子供向けの模型やインタラクティブ展示があり、家族連れに最適です。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



# 必見スポット

選択

## 見逃せない8つの絶景ポイント

01 メインホール

### 完全復元された船体

世界で唯一、ほぼ完全に保存された17世紀の戦艦です。**98%**がオリジナルの部材で構成されており、その規模と詳細さは息を呑むほどです。竜骨から艫楼まで、6つの階層から多角的に鑑賞できます。

> 💡 沈没から333年後に引き揚げられましたが、木材の状態は驚くほど良好でした。

02 艫楼周辺

### バロック調の彫刻群

船体全体に施された数百体の彫刻は、神話や聖書の人物を描いています。これらの装飾は、グスタフ・アドルフの権威を象徴するために意図的に配置されました。色褪せた漆喰の下に隠れていた細部が、修復により蘇りました。

> 💡 一部の彫刻は、沈没時に破損しましたが、欠けた部分を白いプラスチックで補修しています。

03 甲板レベル

### 64門の大砲

船の両舷に並ぶ大砲は、当時の軍事技術の粋を集めたものです。重量バランスの悪さが沈没の原因となったことを考えると、これらの砲は運命の重石でもありました。砲身に残る鋳造の痕跡が見られます。

> 💡 一部の大砲は、引き揚げ後に博物館の庭で実際に発射テストが行われました。

04 紹介シアター

### 沈没再現映像

映画上映室では、1628年8月10日の出来事がCGI技術で再現されます。風が吹き、船が傾き、水が流入していく様子は、生々しい現実感を持って描かれています。家族連れにも分かりやすい解説が含まれています。

> 💡 子供向けバージョンの「The Vasa Piglet」も上映されており、親しみやすいストーリー展開です。

05

考古学展示室

## 引き揚げ作業の模型

1961年の引き揚げ作戦の詳細な模型が展示されています。6本のトンネルを掘り、ケーブルを通して浮上させるという大胆な計画が、精密なジオラマで説明されています。潜水士たちの努力が偲ばれます。

> 💡 この作業は、当時のテクノロジーの限界を超える挑戦でした。

06

保存科学コーナー

## ポリエチレングリコール処理の説明

木材を乾燥させても崩れないようにするための化学処理プロセスが解説されています。**PEG**注入という手法により、細胞内の水分を置き換えることで、形を保ちつつ保存状態を安定させました。科学と歴史の融合です。

> 💡 この処理には27年かかり、何百万リットルもの溶液が使われました。

07

屋外展望

## 銅製屋根のマスト

博物館の屋根に設置されたマストは、帆装をすべて備えたヴァサ号の実寸高さを表しています。遠くからでもこの特徴的なシルエットが目印となり、建築デザインとしての機能性と象徴性を兼ね備えています。

> 💡 384名の応募の中から選ばれた設計案の最大の特徴です。

08

ドック区域

## 附属展示船4隻

サンクト・エリク号など、19〜20世紀のスウェーデン海事史を代表する4隻の船が展示されています。これらは浮遊博物館船として整備され、時代ごとの造船技術の変化を比較できます。

> 💡 氷砕氷船や救助艇など、用途ごとに異なる設計思想が見られます。

アドバイス

# 完璧な見学のための秘訣

### TIMING
午前10時前にお越しください。開館直後は混雑が少なく、静かに船を鑑賞できます。

### BILLET
オンラインで事前予約してください。夏場や週末は行列が長く、現地購入はリスクがあります。

### PARCOURS
下層から順に登り、最後は艫楼上部で全景を眺めるのがおすすめです。

### PHOTO
フラッシュ禁止です。高い窓からの自然光を活用し、船とのセルフィーを楽しみましょう。

### PAUSE
博物館内レストランで休憩するか、指定エリアでピクニックを広げてください。

### ENFANTS
インタラクティブ展示や模型があり、子供にも対応していますが、年齢に応じたアプローチが必要です。

### AUDIOGUIDE
複数言語対応しており、チケット代に含まれています。詳細な歴史的背景を知りたい方におすすめです。

### CONFORT
館内温度は18〜20°Cに保たれているため、夏でもジャケットを持参しましょう。



よくある質問

# よくある質問

### ワサ・ミュージアムのチケットは事前に予約する必要がありますか？

はい、オンラインでの事前予約を強くお勧めします。特にハイシーズン（7月〜8月）や週末には必須です。これにより、長い待ち時間を回避できます。現地での購入も可能ですが、待ち時間が45分以上かかるリスクがあるため、推奨されません。

### いつ予約するのがベストですか？

入場枠を確保するためには、少なくとも数日前に予約してください。夏場はチケットがすぐに売り切れます。グループの場合は、事前予約が義務付けられています。24時間前までであれば、無料でキャンセル可能です。

### グループ割引はありますか？

はい、15名以上のグループ向けに団体料金をご用意しています。予約については博物館へ直接お問い合わせください。学生やシニアの方は、有効なカードをご提示いただくことで、割引料金をご利用いただけます。

### 他の博物館との複合チケットを購入できますか？

ワサ・ミュージアムはスウェーデン国立海事博物館の一部です。マリティマ（Maritima）海事博物館との複合チケットが利用可能な場合があります。最新のオファーと節約方法については、公式サイトでご確認ください。

### ワサ・ミュージアムの見学にはどのくらい時間がかかりますか？

完全な見学には1時間30分〜2時間を見込んでください。博物館には6つの階があり、附属展示もあります。パネルを読み、船の詳細を鑑賞するために十分な時間を取ってください。お子様連れのご家族は、さらに時間がかかる可能性があります。

ご存知ですか？

# エピソード＆トリビア

### 王室による開館式

1990年6月15日、博物館は公式に開館しました。着工式典は1987年、ベルティル王子によって開催され、国家行事として扱われました。

### 建築コンペティションの激しさ

恒久建物の設計案を提出した建築家は384名いました。最終的にマリアン・ダールバックとゴラン・マンソンが受賞し、モダンなデザインで船の歴史に対比しました。

### 建設中の公開見学

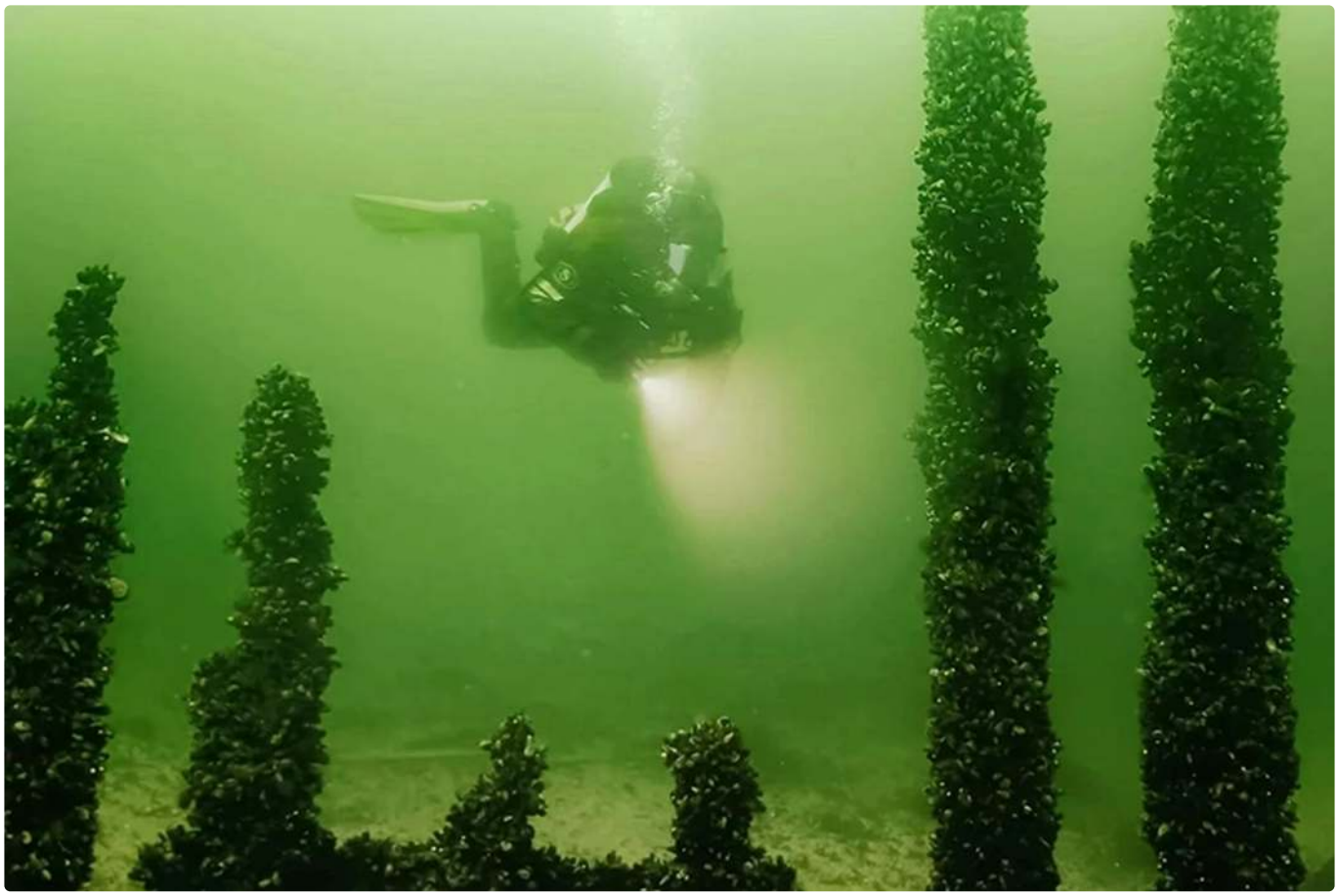
1989年夏、半完成状態の博物館を22万8,000人が見学しました。この人気は、スウェーデンがこの海洋遺産に対して抱く多大な関心を示しています。

### 来場者数の記録

開館以来、ヴァサ号を見た人は2,500万人を超えています。現在もスカンジナビア諸国で最も訪問者の多い博物館であり、文化的アイコンとしての地位を確立しています。

博物館周辺

ユールガルデン島は、博物館を訪れた後にリラックスするのに最適な場所です。ユールガルデン公園では、メラーレン湖沿いを散策したり、植物園で季節の花々を楽しんだりできます。食事を求めるなら、博物館内のレストランでスウェーデン料理を試すか、指定エリアでピクニックを広げるのも良いでしょう。さらに、海事博物館（マリティマ）やスカンセンも近くにあるため、一日かけてスウェーデンの海洋史と農村生活を探求することができます。



ヴァサ博物館での時間は、単なる観光ではありません。それは、人間の過ちとそこから学ぶ知恵、そして再生の力を肌で感じる旅です。船体の細部に見られる職人の技と、沈没という悲劇を超えて今日まで残された強さを前に立ち止まる時、あなたはスウェーデンの魂に触れるでしょう。